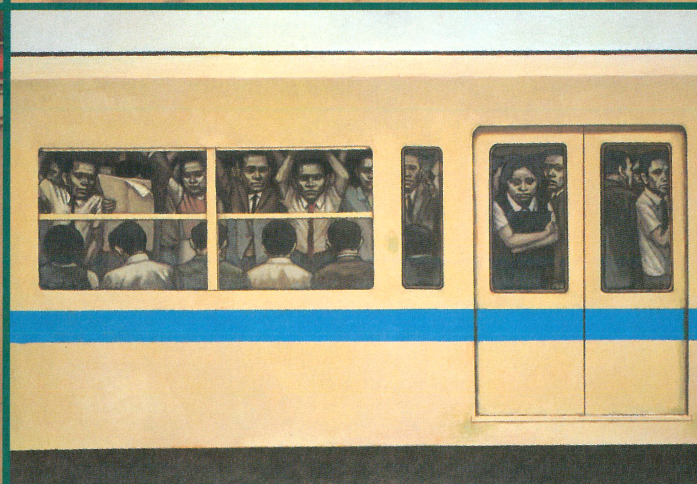


KARIYA CITY
ART MUSEUM

1998

1.17 土

2.22 日



相笠 昌義

「日常生活・車内にて・秋」 1978年	「日常生活・車内にて・春」 1978年
「日常生活・車内にて・冬」 1978年	「日常生活・車内にて・夏」 1978年

二安堂画廊蔵

主催 刈谷市・刈谷市教育委員会・刈谷市美術館・中日新聞社
後援 愛知県教育委員会

人とヒト展

人々の生活と
生命をみつめて

開館時間＝午前9時～午後5時まで

ただし、金・土曜日は午後7時まで開館（入館は閉館の30分前まで）

※初日1月17日（土）は、午前11時開館

休館日＝毎週月曜日、2月12日（木）

入場料＝一般600円（400円）、学生400円（200円）※（ ）内は前売り料金及び20名以上の団体料金

出品作家

相笠昌義、朝井閑右衛門、麻生三郎、池田龍雄、池田遙邨、石井茂雄、石井柏亭、市川晃、伊藤小坡、牛島憲之、大久保作次郎、大島哲以、奥谷博、小倉遊亀、梶原緋佐子、香月泰男、勝田哲、鹿子木孟郎、北川民次、絹谷幸二、木下孝則、木村莊八、近藤文雄、斎藤吾朗、斎藤真一、清水登之、白瀧幾之助、新海覚雄、杉山寧、高松次郎、玉村方久斗、智内兄助、鳥海青児、堂本印象、中村正義、野島青荻、野田哲也、秦テルヲ、浜田知明、星野真吾、三上誠、水出陽平、向井久万、吉原治良、米谷清和、和田英作、渡辺幾春（敬称略50音順）

刈谷市美術館 ●愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地 ●TEL 0566-23-1636
●交通案内＝JR・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口から徒歩7分 ●駐車場あり

人間は、各々のドラマや社会のなかで、さまざまな思いを抱いて生活しています。このことは画家たちも同様であり、彼らは、働く人、余暇を楽しむ人、街角の情景、団らんする家族、人間の存在など、人びとが生きて活動するいろいろな場面を多彩な視野で見つめ描き出してきました。これらの作品群は、当時の社会や風俗、人びとの感情や暮らしぶり、人間模様などを映しだす鏡となり、さらには生命も照らしだして私たちの心へ生き生きと語りかけてくるでしょう。

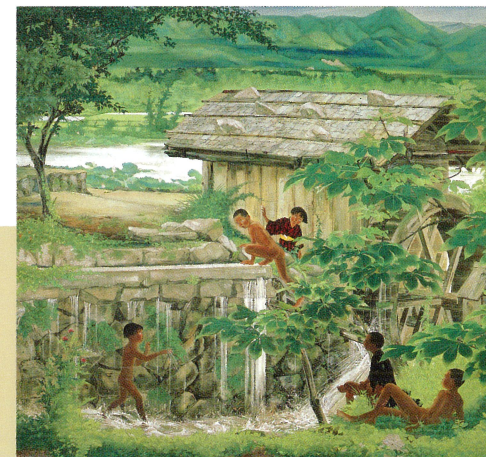
人とヒト展

人々の生活と生命をみつめて

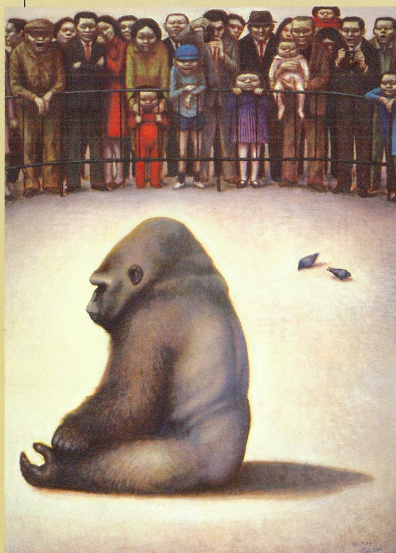
今回の展覧会では、人びとの生活や生命をとらえた日本画・油彩画・版画など、日本近現代の作家による約70点の絵画作品を展示します。最も身近な存在である人間やその生活が描かれた多様な作品をお楽しみください。

絵のなかの人たちと出会い、そして向かい合って、画面のなかから聞こえてくるさまざまなメッセージやエピソードと対話してください。時代を経て私たちを取り巻く社会や価値観は大きく変わりましたが、人間やその暮らしなど身の回りの物事について改めて見つめなおす一つの機会になれば幸いです。

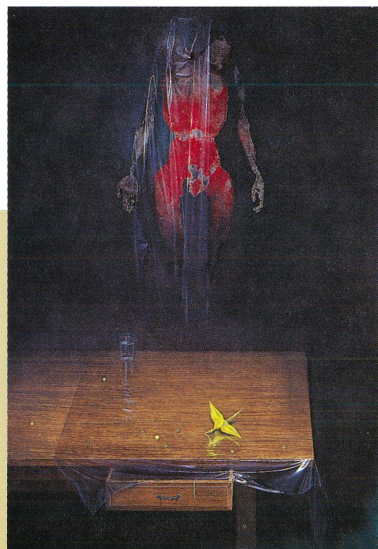
●作品保護のため、会期中一部展示替えを行います。



杉山 寧「翠蔭」1933年
目黒雅叙園美術館蔵



相笠 昌義
「動物園にて・ゴリラをみる人」1975年



星野 真吾「暗い部屋」1989年



斎藤 吾朗「創る人々」1985年



米谷 清和「雪降りしきる」1985年



向井 久万「男児生る」1941年 京都市美術館蔵



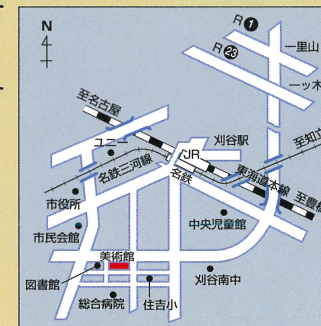
水出 陽平
「団体旅行」1983年

刈谷市美術館

■所在地
愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地
TEL (0566)23-1636
■交通案内
JR・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口から徒歩7分
■駐車場あり

【ギャラリートーク】

■日時
1/31(土) 2/8(日) 2/15(日)
午後2時から展示室にて



人とヒト展 入場割引券
本券では入場できません。本券を切取って
当日、券柄にお出し下さい。切取った
1枚別紙にて当日観覧を
いただけます。